

み
か
い

安住院便り (第15号)

平成17年8月1日発行
〒703-8236
岡山市国富3丁目1-29
住職 生駒琢一
TEL(086)272-2320 FAX(086)273-9327

真言宗

昔、お釈迦様が生み出した仏教は、インドから中国を経て日本に伝わりました。その間にいろいろな宗団が出来て、真言宗を始め天台宗・日蓮宗・禅宗・浄土宗・淨土真宗と多様な仏教教団が存在するのです。元はお釈迦様一人ではないかと思われますが、人は仏の世界に入り悟りを開くため様々な修行をしますが、人それぞれ個性があり考え方も異なりますので、悟りの方法も多く違います。世界に入るには当然の結果です。そのため数多くの違いが出来てきるのは、経典が出来、修行の方法により宗派が分かれています。その人にあつた仏教があると言ふのが、仏教が画一的ではない、世界みんなのことを考えている宗教なのです。弘法大師空海上人が、中国にて大日如来の密教の教えを惠果和尚から全て受け継ぎ、日本に帰り、「真言宗」という名前で広く弘めてきました。しかし真言宗のお寺では、大日如来の他、観音・薬師・釈迦・阿弥陀・地蔵など、様々な仏様を御本尊としてお祀りしております。真言宗は別名、真言密教と言つて、大日如來の教えといふものは、真実の言葉ではあるが、秘密に語られます。

その教えそのものに触ることは特別の修行が必要なのです。そこで、代わりに様々な仮想が、大日如来の教えを、専門分野に訳して教えて下さいます。その御縁のある仮想を御本尊としているのです。
真言宗は師匠から弟子への仏の教えを伝授していきます。いくら勉強が出来て様々に実習していくかは、師より教えてもらわなければなりません。経本の文字の上からだけでは、決して理解出来ない、密教の深い意味が多く存在します。

また、仏様の前では、姿勢を正しし合掌して、口で御真言を唱え、心の中での仏様の事を思い浮かべ、信心を頗ります。その三つの要素を膨らませることが出来ます。どなたでも、仏様の心を持つてゐる心を呼び起こすことは難しいですが、お寺にお参りした時には是非、思い出して下が、それが真言宗の第一歩なのです。



龍王堂の再建

昨年度の台風の猛威は凄まじいもので、全国各地に多大な被害をもたらしました。今まで余り災害を受けませんでいた瓶井の谷も、その第二十号台風の暴風により当山所の山林内に倒木があり、植林木・雑木に関係なく多数倒れてしまいました。

またその倒木が瓶井の谷の鎮守、龍王堂を直撃し、修復不可能な状態になってしましました。

操山の山中に、安住院の山号・瓶井山の由来となつた泉を守る龍神様を祀つた龍王堂があります。泉は真夏でも枯れることなく、干ばつの時、その泉で安住院の宝物である『龍の舌』を洗うと必ず雨が降つたという言い伝えがあります。昔から生活特に農業では水というものは一番大切な物で、しかもそれは天からの恵みがありました。

ご先祖様の供養のため、是非お詣りして、灯籠流しにご参加下さい。

灯籠流し

この水を護つていてのが龍王堂なのです。昔のことを行かれたことがあると思います。その龍王堂が無惨に倒壊してしまつたということは、昨年の災害がいかに凄かつたかを物語つているのかも知れません。総代さんと相談して、その龍王堂の再建を発願し、今年中には元の姿にし、お祀りしたいと考えております。

御協力が頂ける檀信徒の方がございましたら、宜しくお願ひ申し上げます。

今年の四月十三日～十四日、三号台風の暴風により当山所の山林内に倒木があり、植林木・雑木に関係なく多数倒れてしましました。

西国三十三ヶ所靈場巡り

その水を護つていてのが龍王堂なのです。昔のことを行かれたことがあります。その龍王堂が無惨に倒壊してしまつたということは、昨年の災害がいかに凄かつたかを物語つているのかも知れません。総代さんと相談して、その龍王堂の再建を発願し、今年中には元の姿にし、お祀りしたいと考えております。

今年の春はまた気候にも恵まれ、清々しい最高の気分で結願を向かえました。特に三十番札所では、本当に満開の桜並木の参道は素晴らしいもので、ゆっくりと今までの団参を振り返りながら歩き、無事満願成就する喜びを深く感じたものです。

岡山市仏教会主催で、今年も例年通り、八月十六日六時半から、西川の緑道公園アイプラザの前で、灯籠流しを開催致します。

ご先祖様の供養のため、是非お詣りして、灯籠流しにご参加下さい。

ご先祖様の供養のため、是非お詣りして、灯籠流しにご参加下さい。

これからもまた、宜しくお願ひ致します。

次の予定は、十月十三日（木）十四日（金）です。

